

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブソリューションサービス
東京都港区東新橋1-9-1

今週の注目材料=米小売売上高は弱め見込み

2024年7月15日

11日発表の6月米消費者物価指数(CPI)の伸びが予想を下回ったことを受けて、9月の米連邦公開市場委員会(FOMC)での利下げ開始を織り込む動きが進んでいます。さらに年2回の利下げもほぼ織り込み済みとなり、年3回利下げの可能性を30%以上織り込むなど、ここに来て利下げ期待が広がっています。

5日に発表された米雇用統計では非農業部門雇用者数の伸びが予想を上回ったものの、前回値が大きく下方修正され、失業率が予想外に悪化と、こちらもやや冴えない結果となりました。ここに来て米指標の弱さが目立つ展開となっています。

そうした中、16日に6月の米小売売上高が発表されます。5月の小売売上高は前月比+0.1%となり、市場予想の+0.3%を下回りました。また3月が+0.7%から+0.5%へ、4月が横ばいから-0.2%にともな下方修正されるなど、総じて弱い結果となっています。

前回の内訳を確認すると、強さが目立ったのが自動車及び同部品で前月比+0.8%、寄与度にして+0.16ポイントとなりました。また無店舗小売りが+0.8%(寄与度+0.14ポイント)、衣料品が+0.9%(寄与度+0.03ポイント)となっています。米小売り大手アマゾンやターゲットなどのセールが影響したものではとの観測が出ていました。

弱かったのがガソリンスタンド、飲食、建材園芸、家具など。ガソリンスタンドはガソリン価格の低下が影響したとみられます。

こうした中、今回の見通しですが、前月比-0.2%と5カ月ぶりの売り上げ減少が見込まれています。弱めの米指標が目立っている中でこの売り上げ減は、ドル売りに拍車をかける可能性があります。

ただ、この弱めの数字は2つの事情があります。一つは前回も見られたガソリン小売価格の低下が今回はより厳しいものとなっていること。消費者物価ベースでのガソリン価格(全種平均)は、5月の前月比-3.6%から6月は-3.8%となっており、前回の-0.17ポイント以上の押し下げが見込まれます。

もう一つが前回は強かった自動車販売の減少見込みです。こちらは完全に特殊事情で、全米の自動車ディーラー数千社にソフトウェアを提供する業界最大手のCDKグローバルがサイバー攻撃を受け、6月19日に業務を停止。システムの回復は7月上旬までかかり、米国の自動車販売に大きな影響が出ました。GMやフォードなどは6月の販売が5-6%低下するなどの状況となっています。この影響が小売売上全体にも出てくるとみられます。

自動車とガソリンを除いた小売売上高は5月の前月比+0.1%から6月は+0.3%に伸びているだけに、予想前後の弱さを見せた場合、どこまで反応するべきかは微妙なところだと思います。

ややドル売り材料に神経質になっていることを考えると、予想前後の低下であった場合、ドル円などある程度押し下げるとは見られますが、値幅は抑えられる可能性があります。

その他の米国の材料としては、15日(日本時間16日午前1時半)からパウエルFRB議長が受けるワシントンD.Cのエコノミッククラブで受けるインタビューや、17日のウォラーFRB理事によるカンザスシティ連銀主催イベントでの講演など、FRB関係者発言が注目されます。20日から30日、31日の米FOMCを前にしたブラックアウト期間に入り、関係者発言が基本なくなりしますので、注目を集めるところとなっています。

パウエル議長のインタビューはカーライルグループ元CEOのデビッド・ルーベンシュタイン氏。マーケットについては専門家だけに、どのような話が出てくるのが注目されます。

米国以外の材料としては、18日にECB理事会の結果が発表されます。前回利下げを実施したECBですが、今回は据え置きで見通しがほぼ一致しています。ECBのチーフエコノミストであるレーン理事は、今回の理事会は現状を把握する機会になると発言しています。

今後については、9月と12月の利下げと、四半期ごとの金利引き下げが見込まれている状況です。ただ、フランスの政治的混乱、11月米大統領選でのトランプ前大統領の返り咲き見通しなど、政治リスクを警戒する動きが広がっていることから、今後についてはやや不透明感が出ています。9月利下げに向けて声明やラガルド総裁会見での姿勢が注目されるところとなっています。

山岡和雅 | ミンカブソリューションサービシズ 編集長

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブソリューションサービシズは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブソリューションサービシズが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブソリューションサービシズ)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。